

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

土木工学コースでは、次のような力を学士課程より高い基準で修得することができる。

- ・幅広い教養と技術者倫理をもって物事を多面的に見る能力
- ・土木・環境工学分野に関わる幅広い専門的学理、知識、技術、およびそれらを活用して新たな課題の発見と創造的提案を行う能力
- ・地域性や歴史性を見据えながら、公共空間を把握・分析する能力
- ・エンジニアリングデザインとマネジメントの適用能力
- ・他者と協力してプロジェクトを企画・立案・遂行する能力
- ・日本語および英語で論理的な記述、討議、発表ができるコミュニケーション能力

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディプロマ・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 幅広い理工系基礎科目

幅広い工学系専門基礎科目を履修することで、土木工学における高度な学問や技術を修得するための基礎学力を修得する。

B) 土木工学における専門科目

土木工学の専門科目を履修することで、学部で学んだ専門基礎をより高度な視点から体系的に修得する。

C) 高度な理論・技術の実践的科目

講究やインターンシップなどを履修することで、土木工学における高度な理論と技術を実践的な形で修得する。

D) 問題解決力・コミュニケーション力の養成

問題解決力・コミュニケーション力を養成する科目を履修した上で、学生自らが創意工夫をする修士論文研究を実施することで、高い倫理観に基づく問題解決力やコミュニケーション力を修得する。

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

土木・環境工学系では、次のような方々を求めます。

- ・理工系基礎学力を有し、論理的かつ多面的な発想ができること
- ・土木技術や社会基盤、都市、環境に関連する幅広い知識を有し、積極的に学び研究する意欲を有すること
- ・国際的な視野から研究開発を進めるために必要な語学力を有していること
- ・土木・環境工学の知見を活かし、安全で環境に調和した社会の形成に貢献する高い志を有すること

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

土木・環境工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、土木・環境工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。